

生涯学習支援 美術講座「^み^が^く美学」受講生募集

時・内

- 6月16日 日本画講座(日本画の歴史)
 - 6月23日 彫刻講座(型にはまる彫刻)
 - 6月30日 仏教美術講座(滋賀の仏教美術を中心に)
 - 7月7日 プレミアムトーク(楽吉左衛門さん講演会)
 - 7月21日 企画展講座(田中一村の世界とワークショップ)
- いずれも土曜日の午後1時～2時30分

所佐川美術館

講美術館学芸員、楽吉左衛門さん

対高校生以上

定先着40人

¥市民：4,000円、市民以外：7,500円※全5回分。教材費

※1講座のみ受講の場合、市民：1,000円、市民以外：2,000円。受講料は初日に徴収。

持運転免許証など住所が確認できるもの、筆記用具

申4月15日(日)～6月15日(金)に名前、住所、電話番号、ファクス番号、性別、年齢を記入しファクスまたはメールで下記へ申し込み。

※1講座のみ受講希望の場合、受講の可否について6月8日(金)以降に連絡します。

他全講座修了者に授与する修了証の提示により、平成31年3月31日まで入館無料になります。

問佐川美術館 ☎(585)7800 📠(585)7810 ✉art_sagawa@sagawa-artmuseum.or.jp



佐川美術館
アートコラム⑧

四季のうつろいを楽しむ

公益財団法人佐川美術館
学芸員・馬場まどか



今年桜が例年よりも早く開花し、少し早い春の訪れとなりましたが、美術館でも水庭のヨシの新芽が顔を出し、生命の息吹を感じるこの頃です。5月には新緑が青空に映え、サツキが美しい躑躅色に染まります。梅雨でたくさん雨を浴びた植物は、夏にますます成長をとり、秋にはプロムナード沿いのケヤキが揃って黄葉します。寒い冬の日には、雪が建物の屋根一面に積もり、水庭に張った氷によって冬の寒さをより一層実感します。

こうした四季がうつろう中、美術館の建物は表情を変えず凛としたたたずまいを見せます。佐川美術館の建物は、和の印象を重視した切妻造の2棟の平屋から成り、水庭に浮かぶようにたたずんでいます。建物自体のアーティスティックなことから、そのアーティスティックな演出しているのは周囲の風景との一体感と言えます。四季折々の美しさは、一日一日と同じ表情を見せることはありません。うつろいゆく四季の表情が美術館の表情を幾重にも演出し、心に留まる美しい光景を生み出しています。

私たちの日常生活においてもそうです。ご家庭や職場、散歩する道、すべてから四季を感じ取ることが出来ます。咲き誇る花、瞬く星、吹き抜ける風、気に留めなかったものに目を向けてみてください。思いがけなかった美しい光景に出逢い、そこからアートを感じることもあるかもしれません。